

事務事業評価

令和 2 年度

担当課

政策企画課

基本事項	事務事業名	島原情報マイスター事業					整理番号	0106		
	根拠法令等	なし					実施を義務付ける規定	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
	関連する市勢振興計画の基本計画	目標	基本目標3 賑わいと活力を興すまちづくり			予算科目	2 款 1 項 7 目		<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 新規	
		施策	施策3-4 訪れてみたい、魅力のあるまち			事業区分	市民サービス事業			
事業の目的・実施状況等	事業の背景 (課題、市民の要望等)	これまでの情報発信は、市職員が市ホームページ、観光ブログ等で行っていたが、公平性を期するあまり、無味乾燥な情報発信となったり、リアルタイム性に欠けたり、個人的な交流が生まれないなどの問題があった。					計画期間	始期	平成 25 年度から	
	事業の対象 (誰に・何に対して) 目的 (どのような状態にしたいのか)	島原の旬な情報を発信できる人を養成し、SNS等を利用し島原市民による地元情報を発信することで、市民のICTリテラシーの向上及び、地域の魅力アップ及び情報発信の強化を目的とする。					終期	令和	年度まで	
	目的達成のための 具体的手段・方法	講座を受講し「島原情報マイスター」の認定を受けた者と、市職員により情報を発信。情報発信手段としては、Facebookページ「さあいこう！島原」にて、リアルタイムな情報を発信。								
	成果指標 (目的達成度を図るものさし)	名 称 等 (内 容)		単位	30 年度	1 年度	2 年度			
		①Facebookページ「さあいこう！島原」のファン数		目標	人	2,020	2,030	2,040		
				実績	人	2,015	2,023	-		
				達成率	%	99.8	99.7			
②		目標								
		実績								
		達成率	%							
活動指標 (目的達成のために 行った活動実績)	①情報マイスター認定者数		目標	人	40	42	44			
			実績	人	40	40	-			
	②投稿数		目標	件	120	126	132			
			実績	件	88	83	-			
事業費等の推移	年度		28 年度	29 年度	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度		
	区分		実績値	実績値	実績値	実績値	予 算	計 画		
	① 直接事業費(千円)		369	363	346	347	449	449		
	財源内訳	国 県 支 出 金								
		地 方 債								
		そ の 他								
		一 般 財 源	369	363	346	347	449	449		
	② 従事職員給与費 b1×b2		599	604	613	301	605	605		
	従事職員数(人) b1		0.08	0.08	0.08	0.04	0.08	0.08		
	職員平均人件費 b2		7,484	7,546	7,663	7,530	7,563	7,563		
事業費合計 ① + ②		968	967	959	648	1,054	1,054			

【1次評価】

事務事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）	
必要性	①社会環境の変化や市民ニーズに照らして、事業の必要性が薄れていないか	A=薄れていない B=一部薄れている C=薄れている 事業発足当時と比べて目新しさはなくなっているが、情報発信の重要性自体は変わっていない。	判定 A
	②事業を民間(NPO、市民、ボランティア等)に実施させることはできないか	A=市以外での実施は困難 B=一部民間での実施可能 C=民間での実施可能 市民が島原市の魅力を発信することに意味があるものであるため、民間委託は考えにくい。	A
	③対象者は事業目的に見合っているか。また、事業を取り巻く時代変化や制度改正など、環境の変化に適応しているか	A=概ね適切 B=改善の余地あり C=見直しが必要 時代の変化に伴い投稿方法に変化が生じた場合等は、情報マイスター認定者に対し、内容を刷新してフォローアップ研修を行っている。	B
有効性	④成果指標の達成に十分寄与する手法がとられており、結果として目的が達成されているか (成果指標と連動させること A=達成 B=概ね達成 C=未達成)	A=達成している B=一部達成している C=あまり達成していない 講座で学んだ方法に則った投稿方法が実践されている。	B
	⑤事業効果をさらにあげる余地はないか	A=効果向上の余地はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 現時点では情報マイスターの方々は個別で活動されているが、観光課、産業政策課など、イベントを多く取り扱う部署と連携することで新たな展開が期待できる。	B
効率性	⑥事業実施により、費用や業務量に見合った活動結果が得られているか (活動指標と連動させる A=達成 B=一部未達成 C=未達成)	A=得られている B=一部得られている C=見直しが必要 現在の業務量に伴った結果は得られていると考えられる。	B
	⑦必要な活動結果がより少ない費用や業務量で得られる手法に代えられないか	A=現行以上の手法はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 現在は4名の情報マイスターにタブレットを貸与して活動していただいているが、スマートフォンやタブレットの普及が著しい今、この4名の貸与が本当に必要かどうか見直しが必要。	B
	⑧組織間の連携や役割分担に改善の余地はないか	A=改善の余地はない B=一部改善の余地がある C=改善の余地がある 観光課や産業政策課など、イベントを多く取り扱う部署と連携することで新たな展開が期待できる。	B
公平性	⑨事業の対象者全員に偏りなくサービスが提供されているか 全体コストから見て受益者の負担割合は適切か 使用料等の見直しの余地はないか	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 現在は4名の情報マイスターにタブレットを貸与して活動していただいているが、スマートフォンやタブレットの普及が著しい今、この4名の貸与が本当に必要かどうか見直しが必要。	B
	⑩市民参加、市民協働が配慮されているか、市民参加を拡大する余地や、新たに取り組む余地がないか	A=概ね適切・現状維持 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要	B
判定評点平均（3点満点） A=3、B=2、C=1、「-」=0として換算			2.20

◎ 総合自己評価（所管部署）

評価結果	<input type="radio"/> A 継続実施(特段の見直しは行わない) <input type="radio"/> B 改善・見直しを行う <input type="radio"/> B1 事業規模の拡充 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input checked="" type="radio"/> B3 事業内容の改善・見直し <input type="radio"/> B4 その他の見直し <input type="radio"/> C 休止(隔年実施などへの変更) <input type="radio"/> D 廃止(終期の設定等を含む)	判断理由	<p>現時点では情報マイスターの方々は個別で活動されているが、観光課、産業政策課など、イベントを多く取り扱う部署と連携することで新たな展開が期待できる。</p> <p>また、現在は4名の情報マイスターにタブレットを貸与して活動していただいているが、スマートフォンやタブレットの普及が著しい今、この4名の貸与が本当に必要かどうか見直しが必要。</p>
	今後の課題及び改善策、見直しの状況 (実施上の課題等) ・情報マイスターの活動範囲拡充 ・タブレット貸与必要性の見直し		
<p>・総合評価で、「見直し・改善」を行うとした場合、見直しを行う上での今後の課題や事務事業の改善・見直しを行うことにより予想される効果も併せて記載してください。</p> <p>・本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し(改革・改善、終期の設定など)を行っている場合は、その内容についても記載してください。</p>			

【2次評価】

総合判定	D 廃止
備考	本事業が始まって6年が経過し、情報発信の多様化(スマホ・タブレットの普及、フェイスブック以外の情報媒体)が進んでいる中であっては、当初の目的である市が関与した「市民による地元情報発信」は一定役割を終えた感があり、事業廃止が妥当ではないか。

【3次評価】

総合判定	
備考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況		
① <input checked="" type="checkbox"/> 事業費縮減(事業の見直し)	③ <input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	↓ 予算措置額の増減
② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減	④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持(事業内容の拡充)	-449 (千円)